

日御碕でオリジナルミニ海鮮丼を食べ歩き

出雲日御碕観光応援キャンペーン！

日御碕で人気の海鮮丼、お店ごとの異なる味わいを食べ歩きできる特別企画を実施します。

出西窯特注の器を購入し特別メニューのミニ海鮮丼を2店舗分お召し上がりください！

※器は、お食事前後店舗にて洗浄します、お土産用の箱と手提げに入れてお持ち帰りいただけます。

食事は店内飲食のみ、お持ち帰りはできません。

実施期間：令和7年3月3日(月)～平日のみ 限定50名様分無くなり次第終了。

設定除外日…土日祝日

料金：お1人様2800円(税込)

(内容：出西窯ミニ茶碗2440円相当 + ミニ海鮮丼食事券2店舗分)

販売箇所：日御碕ビジターセンター(営業時間9:00～17:00)

ミニ海鮮丼 提供店：5店舗

○花房商店(定休日水)

【みさき丼】提供時間①10:00～11:00 ②14:30～16:00

○柿谷商店(不定休)

【海鮮丼】提供時間①10:30～11:30 ②14:00～14:30

○まの商店(不定休)

【灯台丼】提供時間①10:30～11:30 ②14:00～15:00

○tatsuzawa misaki cafe(定休日水)

【日本海丼】提供時間①10:00～11:00 ②14:00～16:30

○ぐるめ幸洋(改装工事の為3月14日より提供開始 不定休)

【漁師めし】提供時間①10:30～11:30 ②14:00～16:00



ひ の み さ き 日御碕新聞



ウミネコ情報 part3

今年は
遅いです

経島近くの海に鳥山が見られました。鳥山とはブリ等の大型魚に追われて水面にあがってくるイワシ等の小魚を狙ってウミネコが群がること。

1月21日経島沖でウミネコの群れが見られましたが、まだ経島にウミネコはきません。

出雲日御碕灯台 参観再開しました

12月の落雷の影響により、参観を休止していた、出雲日御碕灯台が1月29日(水)より再開されました。なお、灯台への電話は不通のままとなっております。詳しくは燈光会ホームページをご確認ください。



灯台ライトアップの再開は未定です

2025年2月号

日御碕ビジターセンター
0853-54-5400



参加者募集! みんなで学べる

日御碕の旅 ジオパークと魚のふしぎを探ってみよう

日御碕近郊の海ではなぜこんなにおいしい魚が獲れるのかな。海のふしぎを学びながら、獲れたての魚を講師と一緒にさばいてみよう! さばいた魚は海鮮丼にして実際に食べてみます。普段食べている魚とは何かちがうのかな。

【海と魚のお話の先生:AQUA工房 岡本哲夫さん 出雲国ジオガイドの会 渡邊一枝さん】

【調理の先生:/出雲遊覧 木村昌夫さん】

開催日時：令和7年3月20日(木・祝日) 10:00～13:00

場所：日御碕コミュニティセンター(出雲市大社町宇龍338-3)

料金：大人お1人様1000円税込 小学生300円税込 未就学児無料

※小学生以下のお子様は必ず保護者が一緒にご参加ください。

募集人数：20名(8組)

予約受付：日御碕ビジターセンター 電話0853-54-5400(営業時間9:00-17:00)



主催/出雲国ジオガイドの会 協賛/(一社)出雲観光協会 後援/島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会

ひの御碕新聞

2025年2月号

日御碕ビジターセンター
0853-54-5400

ひのみさきじんじや めかりしんじ
令和7年 日御碕神社 “和布刈神事”について

日時:令和7年2月2日(日)
御座船神事 13:30~
式典執行 14:00~
場所:宇龍港 権現島 熊野神社
※式典は例年通り執り行われます、
おもてなしは中止となります。



過去の和布刈神事の様子

和布刈神事とは「成務天皇6年1月5日の早朝、一羽のウミネコが海草を日御碕神社の欄干に3度掛けて飛び去った。不思議に思った神主がそれを水洗いして乾かしたところ、ワカメになった」という故事にならって行なわれる神事。
毎年旧暦1月5日に宇龍港(うりゅうこう)権現島に鎮座する熊野神社で行なわれる。「日御碕わかめ」は、この神事が終わってから初めて刈り取るしきたりになっている。

出雲国ジオガイドの会では 日御碕で防災研修会をおこないました



1月12日(日)出雲国ジオガイドの会で行った防災研修会のご報告です。私たちジオガイドは気候変動や災害情報を知り・伝えていくことも活動の1つとしています。そこで昨年集中豪雨の被害を受けた県道29号線を基に防災研修会を行い、20名のガイドが参加しました。当日は雨とみぞれ降る中でしたが出雲土木事務所のみなさまのご協力により崩落した原因や復旧道路仮設・今後の復旧工事の計画を説明していただき、場所を移しジオパーク推進協議会専門委員より補足説明や「防災を学びジオガイドに役立てよう~」の講義を受けました。この研修会を通してジオガイドは地質などを伝えるだけではなく、気候変動や災害情報を交えながら、みなさんの防災への理解を深めて行くことにも繋げていかなければならないと考えさせられました。

みなさんもご自分の住んでいる地域の防災ハザードマップや避難所の場所をもう一度確認し、災害発生時に的確な判断が出来る様準備しておきましょう。

出雲国ジオガイドの会 会長 渡邊一枝



出雲県土木整備事務所の職員より現場説明



崩落現場は立入禁止です。今回は専門家立ち合いのもと特別に見学しています。一般の方は絶対に入らないでください。

県道29号線の崩落現場を間近で見学



ジオパーク推進協議会専門委員 野村先生による補足説明



召古氏による講義
防災を学びジオガイドに役立てよう

イズモサンショウウオの生態調査がありました

1月15日灯台周辺にて、ミサキどつとComeによりイズモサンショウウオ調査が行われました。調査員によると、「今年初めての調査となるが、卵塊を1塊と親のサンショウウオを3匹も見つけた。一度の調査で複数の親を確認できたのは今回が初めてである。卵塊は昨年よりも数が少なく、また生みたてのような状態であった。」との事です。今後もみんなであたたかく見守っていきましょう。

→
今回観察された
親のイズモサンショウウオ
体長約10cm



写真:ミサキどつとCome

日御碕に生息している“イズモサンショウウオ”は、カエルと同じ両生類で、子供(幼体)の頃は水中で暮らし、大人(成体)になると陸上で生活します。体長は12~13cmになります。12~2月に卵を産み、6月頃に4cmほどの幼体となりますが、成長して、上陸するのは僅かな数です。夜行性の為、日中は地中等でじっとしていますが、雨の日には歩き回ることもあります。出雲日御碕灯台のすぐそばに、ひっそりとすみかを作っています。昭和62年に鳥根県のみんなで守る郷土の自然に選定された時は、カスミサンショウウオとされていましたが、近年の調査/研究により新種である事が判り、令和3年9月に名称が変更されました。